

ろう者*への理解が 住み良い社会をつくる

*ろう者…耳の聞こえない人。特に手話を日常言語として用いる人を言う（出典：広辞苑）。

川西ろうあ協会 会長
種池 麻祐子さん



現状を知ることが
理解への一歩

「手話は日本語と同様、大切な言語の一つ。手話で生活するろう者がいることへの理解が広がれば、誰にとっても暮らしやすい社会になるはずですよ」
そう話すのは、川西ろうあ協会の会長、種池麻祐子さん。種池さんは川西市への引越越しを機に同協会に加入。7年前、会長に就任しました。

同協会は、昭和54年9月に設立。手話講座の開催をはじめ、市内の小・中学生向けに福祉学習授業「キヤップハンデー」を行うなど活動しています。

「『キヤップハンデー』では、耳が聞こえないことはどういうことなのかや、耳が聞こえない人とのコミュニケーション方法を伝えており、各学校から依頼を受けて行っています。小さいころからろう者への理解を深めることが大切なので、全ての学校で開催したいですね」

手話通訳者は
ろう者にとって大切な存在
市では、令和4年4月1

日に「川西市手話言語条例」を制定。また、国や県の記者会見などでも手話通訳者が配置されるなど、社会全体で少しずつ変化が表れています。

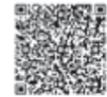
「字幕があるのにどうして手話通訳が必要なのだろうと思ったことはありませんか。日本語の字幕を読むより深く理解できるろう者が多いからなんです。手話は、文法などが日本語とは異なります。高齢のろう者にとつて、手話以外で情報を得ることは難しい。だから手話通訳は必要ですし、手話通訳者をもっと増やしていきたいですね」

「手話を身近に感じてもらうよう、9月23日には手話まつりを開催します（右記参照）。多くの人に来てもらえるところがいいですね」
ろう者への理解を深めることが大切だと種池さん。
「手話はあつて当然だという意識が、より良い社会につながると思います。」

手話が当たり前な社会に
ろう者との関わりが描かれているテレビドラマなどの影響で、手話に関心を持つ人が増加。しかし、手話は難しいというイメージは根強いと話します。

「手話を身近に感じてもらうよう、9月23日には手話まつりを開催します（右記参照）。多くの人に来てもらえるところがいいですね」
ろう者への理解を深めることが大切だと種池さん。
「手話はあつて当然だという意識が、より良い社会につながると思います。」

学生考案の
レシピはこちら



レシピ提供 大阪青山大学学生
熱量（1人分）：287kcal、塩分：1.4g

- 材料 2人分
- モモ 1個
- キュウリ 1本
- シソ 5枚
- 豚肩ロース（しゃぶしゃぶ用） 10枚（約150g）
- 塩・酒 少量
- しょう油・砂糖 各大さじ1
- すりゴマ 大さじ2

- 作り方
- ①鍋に湯を沸かし、塩と酒を少量加え、豚肉をゆでる。色が変わったらザルにあげる。
- ②キュウリは塩をまぶして板ずりし、水で洗う。斜めに薄く切り、太めの千切りにする。モモは1割の厚さに切る。シソは縦半分に切る。
- ③しょう油と砂糖、すりゴマを混ぜてタレを作る。
- ④①の豚肉でモモとキュウリ、シソを巻き、器に盛って、タレをかける。

おとな子どもも
食と育つ 保健センター
☎ 072(758)4721



桃の豚しゃぶロール

【memo】市特産の桃と入手しやすい地元産の野菜を組み合わせたしゃぶしゃぶロール。残暑が厳しい時期でも食べやすい一品です。

市特産の桃は早生品種のため、入手しにくい晩夏以降はいちじくに変えてもおいしく食べられます。

消費生活センターだより 消費生活センター
☎ 072(740)1167

フリマサイトでのトラブル

個人間の取引なので トラブル解決は当事者同士で

【事例1】先日、フリマサイトで商品を購入した。相手が発送通知をしたので、数日後に届くだろうと思い、まだ商品が届いていないのに受け取り通知をしてしまった。その後、商品が届かないので相手に何度も連絡したが返事がない。フリマ運営事業者に事情を伝えたが「受け取り通知をしているので対応できない。当事者間で話し合うように」と言われた（40歳代男性）

【事例2】相場を確認せず、安く中古ブランドバッグをフリマサイトに出品してしまった。購入者に「取引をキャンセルしてほしい」と頼んだが応じてもらえない。フリマ運営事業者は「当事者間の問題」と取り合ってくれない。（60歳代女性）

【回答】インターネットを通じて個人で商品などを取引できるフリマサイトの利用が急拡大し、トラブルも増加。フリマは、基本的には売主と買主との個人間の取引です。運営事業者は、「トラブルは当事者間で解決するように」と利用規約で定めていることがほとんど。商品が届かない場合など条件はありますが、補償サービスを設けていることもあるので、事業者に経緯などを報告して協力を求めてみましょう。消費生活センターは、個人間取引について原則相談を受けることはできません。トラブルを避けるため、利用規約をよく読み、補償サービスがあるのかどうかを確認しておきましょう。マナーやルールを守って取引することも大切です。

生きる 人権推進多文化共生課
☎ 072(740)1150

伝え方を工夫する Vol.2

伝え方のコツは「自分の気持ち」を伝えること 「私」を主語にして伝えること

前回のコラムでは、伝え方を工夫すると人間関係が良くなるとお伝えしましたね。「授業中に漫画を読んだ生徒を心から反省させた言葉」とは「〇〇くんが授業中に漫画を読んでいるなんて、私悲しいよ」です。すると、「えっ！先生が悲しいの？」「みんなが興味を持てる授業にしよう」と、事前に用意して工夫してるんだよ。それなのに漫画読まれちゃうと、授業が面白くなかったのかと思って、悲しくなるよ」「・・・。ごめんなさい」彼は、自分の行動が先生を悲しませるなんて、思っていなかったのでしょうか。その後、クラス一熱心な生徒になりました。

もし私が「あなたが悪い」と怒るだけだったなら、「怒られると怖いからその時だけやめる」となったでしょう。しかし「私が悲しい」と気持ちを伝えたので、「相手を悲しませたことが分かったから、二度としない」と決めて実行してくれたのです。

伝え方のコツは二つ。一つ目は「正論」ではなく「自分の気持ち」を伝えること。二つ目は、主語を「私」にして伝えること。「あなた」から始めると、相手が責められているように感じがち。責められたと感じると、反発してしまいますからね。例えば、「あなた、遅いじゃない！」の代わりに「私、遅れそうで心配なの」と言ってみては。「ごめん、今すぐ行くわ」などの素直な返事が期待できそうです。相手を傷つけずに、自分の言いたいことが言えたら、人間関係も楽になりますよ。（会話の泉 事務局長 コミュニケーション・サポーター 横山由紀子）